

大阪上本町駅(近鉄難波線・大阪線)①

近鉄創業の地から細工谷遺跡へ

谷町九丁目駅(地下鉄谷町線・千日前線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.132



近鉄大阪上本町駅

①近鉄百貨店(旧大軌百貨店)

大軌(大阪電気軌道。近鉄の前身)は明治43年(1910)に設立され、大阪上本町と奈良を結ぶ路線の建設に着手して大正3年(1914)に開業しました。大軌ビルディングは大軌が大正15年(1926)に建設した日本最初のターミナルビルです。ビル内には最初は三笠百貨店、続いて昭和11年(1936)に大軌百貨店が入り、現在の近鉄百貨店上本町店へと続きます。

②新歌舞伎座(旧近鉄劇場)

近鉄劇場は昭和29年(1954)に近鉄会館の名称でオープンしました。当初は映画興行が中心でしたが、昭和60年(1985)に改装し、劇団四季やOSK日本歌劇団などが公演する大阪の演劇文化の拠点となりました。しかし、施設老朽化などで閉館。平成22年(2010)に複合ビル「上本町YU FURA」がオープンし、現在は新歌舞伎座が入っています。

③生玉表門商店街

生國魂神社の表参道にあたり、古くより門前町として栄えました。谷町筋の拡幅以前は、カフェ、尺八屋、玉突き屋、下駄屋、古本屋、写真館、天婦羅屋、メリヤス屋などが軒を連ね、たいそう賑わったそうです。小説家の織田作之助はこの界隈で生まれ、育ちました。

④蔵鷺庵

四天王寺を鎮守する七宮のうち、鬼門にあたる北東の守りとされたのが上之宮で、ここで仏事をお

こなう僧の住む坊が春海庵(蔵鷺庵の前身)でした。春海庵は長い間、無住寺になっていましたが、元禄4年(1691)に阿波の藩主・蜂須賀家の家臣・稲田植栄の奥方が開基して、天桂傳尊禅師が曹洞宗の寺院として再興しました。織田作之助の小説『夫婦善哉』に登場するほか、画家の北野恒富が寄宿したこともあります。



⑤上之宮跡

四天王寺七宮のひとつです。熊野古道の九十九王子の4番目・上野王子にあたるとされますが、

上野王子の場所に関しては、上之宮にあったとされる説と、国分町にあったとの2説があって確認されていません。明治40年(1907)に大江神社に合祀されました。



⑥細工谷遺跡

難波宮跡の東南に位置する遺跡で、平成8年(1996)に発掘されました。全国初の発見となった和同開珎の枝錢は、日本最古の貨幣を製造する過程で使われたものです。「百濟尼寺」と記された墨書土器や瓦、金属加工に関連した遺物や7世紀末の通貨富本銭、尼の父の名前を記した木簡など、飛鳥時代から奈良時代を中心とするさまざまな遺物が見つかっています。

近鉄大阪上本町駅

